

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ステラケミファ(株) 三宝工場R&D棟	階数	地上5F
建設地	大阪府堺市堺区海山町7丁227番、2	構造	S造
用途地域	工業専用、都市計画区域内(市街化)	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	99,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年11月16日
敷地面積	24,288 m <sup>2</sup>	作成者	康 昌夫
建築面積	1,326 m <sup>2</sup>	確認日	2021年11月16日
延床面積	4,965 m <sup>2</sup>	確認者	福留 園美



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	外装は高断熱で長期間劣化しない金属系パネルを採用し、綺麗ですっきりした外観を保持できるよう配慮した。	<b>その他</b> 特にありません。
<b>Q1 室内環境</b>	高断熱な外装材に加え、建具にLow-eガラスを用いて十分な採光と断熱性能に配慮した。また、居室の天井を高くし、空調換気設備を適切に設置することで快適な執務環境を実現する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 南面の道路沿いに緑地を配置し、道路利用者に気持ちよい植栽が見えるように配慮する。
<b>LR1 エネルギー</b>	消費電力の少ない電気設備機器(照明器具等)や空調換気設備機器の採用を実施する。道路沿いの緑地にはソーラーエネルギーによる外灯を設置する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 外壁は反射を抑えるため明度の低い色彩を採用する。ガラス面はブラインドなどを適切に設置する。屋上に機器類を設置するため、目隠し壁を設置し、周辺から機器類が見えないように配慮する。
<b>Q2 サービス性能</b>	来客と従業員用の動線を分離し、来訪者玄関側に吹き抜けのあるホールを設けて明るく開かれた室内環境を提供する。来客用と従業員用の喫煙ブースを執務空間から離れた位置に設置し、適切な換気設備を導入する。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	基礎工事等で高炉セメント等や再生砕石等を活用する。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	ステラケミファ(株) 三宝工場R&D棟 建設工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区海山町7丁227番、231番2	1	B+
	主用途/延床面積	事務所 / 4,964.96 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
エネルギー削減	3	● ● ● ● ●
建物の断熱性	5	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.0	3
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	2.5	3
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.5	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	3.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	—

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	